

機械的振動の発生または伝達一般

機械的振動の発生または伝達一般（特殊な物理的または化学的プロセスのためのものは、関連サブクラス、例 . B07B1/40, B22C19/06, B23Q17/12, B24B31/06, E01C19/22, を参照; 発生と測定 of 組合せを含む機械振動の測定 G01H; 音波の反射または再放射を使用する方式; G01S15/00; 探鉱用地震エネルギーの発生 G01V1/02; 機械的振動の制御 G05D19/00; 音を伝達し、導きまたは指向させるための方法または装置一般 G10K11/00; 音響波の合成 G10K15/02; 圧電素子、電わい素子または磁わい素子 H10N30/00, H10N35/00; 振動する磁石、電機子またはコイルを有する電動機 H02K33/00; 圧電効果、電わいまたは磁わいを用いる電機 H02N2/00; 電気的振動発生 H03B; 共振回路素子のような電気機械的共振器 H03H; スピーカ、マイクロホン、蓄音機ピックアップまたは類似の音響電気機械変換器 H04R） [2]

注

(1) このサブクラスは、たとえば機械的作業を行う目的で、固体中に機械的振動を発生させる装置を包含する。

(2) このサブクラスは、流体中に機械的振動を発生させる装置を包含しない。それはサブクラス G10K に包含される。

- | | | |
|------|---|---------------------------------------|
| | K | クランク, 偏心機構によるもの |
| | Z | その他のもの |
| 1/14 | | ・ ・ ・ 往復動体が弾性的に結合されているもの |
| 1/16 | | ・ ・ 回転不平衡重錘を含む機構を有する操作 |
| 1/18 | | ・ 振動体が圧力流体によって作動されるものの (B06B1/20 が優先) |
| | A | 往復動型 |
| | K | 回転型 |
| | S | 流体中の超音波の発生 |
| | Z | その他のもの |
| 1/20 | | ・ 振動する流体を利用するもの |
| 3/00 | | 振動数が亜音波, 音波, 超音波級の機械的振動を伝達させる方法または装置 |
| 3/02 | | ・ 振幅変動を含むもの |
| 3/04 | | ・ 振動を集中させ, または反射させることを含むもの |
-
- | | | |
|------|---|--|
| 1/00 | | 振動数が亜音波, 音波, 超音波級の機械的振動を発生させる方法または装置 |
| 1/02 | | ・ 電気的エネルギーを利用するもの (B06B1/18, B06B1/20 が優先) |
| | A | 駆動回路 |
| | K | ホーン, 振動体 |
| | Z | その他のもの |
| 1/04 | | ・ ・ 電磁気を利用するもの (振動する磁石, 電機子またはコイルを有する電動モーター H02K33/00) |
| | A | 駆動回路 |
| | S | 体感音響振動装置に用いられるもの |
| | Z | その他のもの |
| 1/06 | | ・ ・ 圧電効果, 電気ひずみを利用するもの (圧電装置または電わい素子一般 H10N30/00) [2006. 01] |
| | A | 振動子の駆動回路 [例. 振動機] |
| | Z | その他のもの [例. ランジユバレ型超音波振動子] |
| 1/08 | | ・ ・ 磁気ひずみを利用するもの (磁わい素子一般 H10N35/00) [2006. 01] |
| | A | 振動子の駆動回路 |
| | Z | その他のもの |
| 1/10 | | ・ 機械的エネルギーを利用するもの (B06B1/18, B06B1/20 が優先) |
| 1/12 | | ・ ・ 往復動体を含む機構を有する操作 |
| | A | カム機構によるもの |